

Mighty Checker ニュースレター Vol.13

(2008年11月号)

この度、春日部中央総合病院様のご協力により、レセプト点検ソフト「Mighty Checker」のご活用事例をご紹介します。皆様のご参考になれば幸いです。

ご協力いただいた方：春日部中央総合病院医事課係長 高橋 裕樹氏

1. 効果

査定率の減少

月間平均減額査定率がマイティーチェッカー導入前の約0.3%から今は約0.1%となりました。

医事課業務の負荷分散

月初に集中していた業務を分散化しました。

医事課業務の質の向上

従来難しかった算定漏れも点検し、作業の質が向上しました。

2. 成功の秘訣

レセプト点検を分散化し、頻度を多くし、減額査定の減少を図ったこと

導入時、DPC導入に向けて、病名統一等に対して病院全体として取り組んだこと

チューンアップ機能をフルに利用し、医事課のレセプト点検枚数を減らしたこと

1. 導入

Q. レセプトシステム導入時点での目標は？

マイティーチェッカー導入は2007年4月でしたが、当時の目標は査定率を下げることでした。また同時に月初に集中していた業務を分散化することと若いスタッフも点検できるようにすることでした。

Q. レセプトチェックシステムとして、「マイティーチェッカー」を選定された理由は？

導入費用が安かったことと、実際のデータで試してみて効果が期待できると判断したことです。

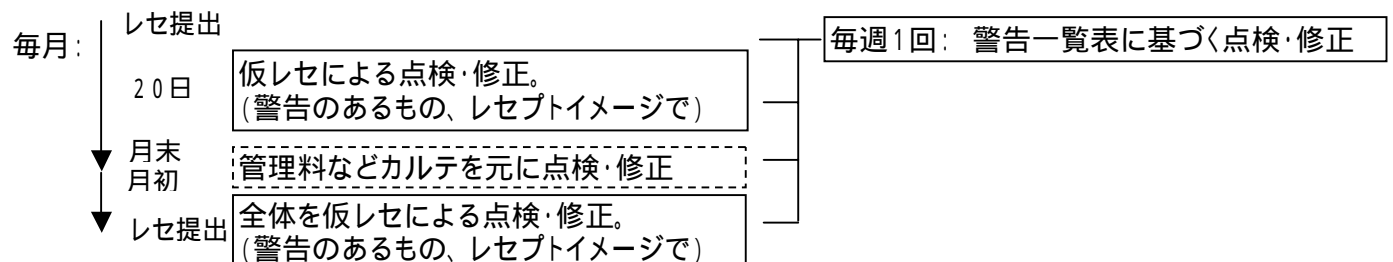
2. 運用

Q. マイティーチェッカーや医事会計システムの全体構成は？

マイティーチェッカーシステムと医事会計システム、さらにオーダリングシステムがあります。医事会計システムからレセプトデータを専用USBメモリを使い、マイティーチェッカープロ(MC PRO)に読み込みます。点検結果は医事課担当者が医事会計システムに入力します。

Q. 毎月具体的なマイティーチェッカーお使いの手順は？

・レセプト件数は国保、社保合わせて約10,000件/月です。



・毎週1回警告分析の警告一覧表に基づき修正します。またこれとは別に毎月20日頃中間のレセプトを集計し、MC PROにかけて警告のあるものをレセプトイメージ印刷して、修正します。

・マイティーチェッカー導入前、この中間レセ時、全レセプトを点検していましたが、現在は警告のあるものだけを点検することで、約半数のレセプトだけの点検になりました。

・支払基金等へ提出前は、全体のレセプトに対し、中間と同様の作業をします。

毎週1回プラス月2回に分散したことで、業務の平準化が図れました。

Q. 重視されている機能や特長は？

・チューンアップ機能(*)です。

チューンアップは担当者を2人に限定し、医薬品や検査に対する病名の追加を中心に、点検対象からの除外(例えば、単純撮影の部位なしによる警告)など、かなりの件数を行ってきました。

チューンアップ機能使用: 医薬品・検査の傷病名の追加、点検対象の除外、等

Q. 病名整理は？

導入時、DPC導入の準備もしており、病名統一等に対して病院全体として取り組みました。導入当初に「未コード化傷病名一覧表」を基に病名整理を行いました。医師が積極的に協力してくれました。

Q. MCPROになって良かったところは？

旧バージョン(マイティーチェッカーV)に比べ、MCPROになって、次の点が良かったと思っています。算定漏れが点検できる チューンアップが楽になった 読込と点検とが続けてできる「一括点検」が追加された

3. 今後

・査定率の減少をさらに押し進めたいと思います。

・また現在行っているチューンアップ(コメント設定による点検対象からの除外など)をさらに強化し、医事課業務の効率化を図り、医事課担当者が検索辞書機能を使えるようにしたいと思います。

*: 医療機関の環境に合わせてデータベースを整備する機能



病院の概要
名称: 医療法人財団明理会
春日部中央総合病院
所在地: 埼玉県春日部市緑町5丁目9番4号
病床数: 404床 (一般272, 障害者94, 療養40)

医事課
係長 高橋 裕樹氏

TAIS 株式会社 **東京エーアイエス**

〒112-0002 東京都文京区小石川2丁目23番11号 常光ビル
TEL: 03-5800-5911(直通) FAX: 03-5800-5910
e-mail: mity@tais.co.jp URL: <http://www.tais.co.jp>